



新かながわグランドデザイン

基本構想 / 実施計画 〈概要版〉

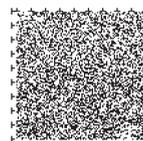


New Kanagawa Grand Design

令和6年3月

活字文書読上げ装置で、
情報を音声で、
聞くことができます。

音声コード



基本構想の見直しの視点

新型コロナウイルス感染症の感染拡大や国際情勢の不安定化

▶くらしをとりまく不確実性への対応 >>> 神奈川の将来像 (1)

少子高齢化の深刻化や本格的な人口減少社会の到来

▶少子高齢化・人口減少への対応 >>> 神奈川の将来像 (2)

デジタル化の加速や脱炭素化の潮流

▶まちや産業をとりまく変化への対応 >>> 神奈川の将来像 (3)

基本構想 (目標年次 2040年)

第1章 基本目標

基本理念 「いのち輝くマグネット神奈川」を実現する

- 神奈川の将来像
- (1) 誰もが安心してくらせる やさしい神奈川
 - (2) 誰もが自らの力を発揮して活躍できる神奈川
 - (3) 変化に対応し 持続的に発展する神奈川

第2章 政策の基本方向

1 2040年に向けた政策の基本方向

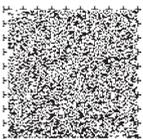
- (1) 将来に希望の持てる社会をつくります ●
- (2) 国内外から選ばれ 持続的に発展する都市をつくります ●
- (3) 地球規模の課題に対して役割を果たします ●
- (4) 誰もが自分らしく生きられる社会をつくります ●
- (5) 安全・安心で持続可能な社会をつくります ● ●
- (6) 多様な担い手との協働・連携を強化します
- (7) 市町村との協調・連携のもと
広域自治体の責任と役割を果たします

2 政策分野別の基本方向

- (1) 子ども・若者・教育
- (2) 健康・福祉
- (3) 産業・労働
- (4) 環境・エネルギー
- (5) 共生・県民生活
- (6) 危機管理・くらしの安心
- (7) 県土・まちづくり

3 地域づくりの基本方向

- 5つの地域政策圏
- 川崎・横浜地域圏
 - 三浦半島地域圏
 - 県央地域圏
 - 湘南地域圏
 - 県西地域圏



県民の皆様へ

県は、超高齢社会や本格的な人口減少社会への対応、また、感染症の拡大や自然災害、国際情勢の不安定化等の不確実性の高まりなど、様々な変化や課題に対応すべく、総合計画「新かながわグランドデザイン」を策定することとしました。

県民の皆様と計画の理念や目的を共有しながら、神奈川の多様な主体の力を結集し、基本構想に掲げた将来像の実現を共にめざすとともに、進歩の著しいデジタルの力を活用し、県民の皆様の目線に立ち、不安を解消することで、安心してらせる社会の実現をめざしてまいります。

今後とも、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和6年3月



神奈川県知事
馬場祐治

実施計画（2024-2027年度）

めざすべき4年後の姿 「県民目線のデジタル行政でやさしい社会の実現」

●プロジェクト（重点施策）

テーマⅠ 希望の持てる神奈川

PJ 1 子ども・若者

PJ 2 教育

PJ 3 未病・健康長寿

PJ 4 文化・スポーツ

PJ 5 観光・地域活性化

テーマⅡ 持続的に発展する神奈川

PJ 6 経済・労働

PJ 7 農林水産

PJ 8 脱炭素・環境

テーマⅢ 自分らしく生きられる神奈川

PJ 9 生活困窮

PJ10 共生社会

テーマⅣ 安心してらせる神奈川

PJ11 暮らしの安心

PJ12 危機管理

テーマⅤ 神奈川を支える基盤づくり

PJ13 都市基盤

●神奈川の戦略

プロジェクトをさらに複合的に実施する取組

- 1 ヘルスケア・ニューフロンティアの推進
- 2 輝き続ける人生100歳時代の実現
- 3 ロボット共生社会の実現
- 4 マグネット・カルチャーの推進
- 5 グローバル戦略の推進

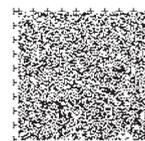
●プロジェクトに関連する地域づくりの取組

●新かながわグランドデザインとSDGs

●主要施策（県の政策の全体像）

「基本構想」の「政策分野別の基本方向」に沿って、プロジェクトで取り組むものも含め、県が着実に実施する事業を体系化

●計画推進



テーマⅠ 希望の持てる神奈川

少子高齢化が進み、神奈川でも明らかに人口減少局面に入った中、安心して子どもを生み育てるための子育て支援や子ども・若者への支援に取り組むとともに、変化の激しい社会に適應できる人材の育成や人を呼び込む地域づくりを進めます。

また、心身ともに健康で豊かにくらす社会をめざし、未病改善による健康寿命の延伸や誰もが文化・スポーツに親しめる取組などを進めます。



PJ 1

子ども・若者が明るい未来を描けるかながわ

子ども・若者

- ① 子育てに希望の持てる社会づくり
- ② 子ども・若者が希望を持てる社会づくり

PJ 2

変化の激しい社会に適應できる柔軟で自立した人材の育成

教育

- ① 思いやる力や自立して生き抜く力、社会に貢献する力を育成する学校教育
- ② 安心して快適に学べる教育環境の整備

PJ 3

未病改善や医療・介護の充実による生き生きとくらす社会

未病・ 健康長寿

- ① 未病改善による健康寿命の延伸
- ② 人口減少・超高齢社会においても持続可能で質の高い保健・医療の提供
- ③ 地域包括ケアシステムの深化

PJ 4

心身ともに健康で豊かな生活ができる活力ある地域社会

文化・スポーツ

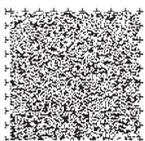
- ① 誰もが文化芸術に親しむための取組の推進
- ② 誰もがスポーツに親しむことのできる社会づくり

PJ 5

かながわの地域資源を生かした魅力的な地域づくり

観光・ 地域活性化

- ① 観光の振興
- ② 地域にひとの流れをつくる取組の推進
- ③ 移住・定住の促進



テーマⅡ 持続的に発展する神奈川

デジタル化の加速などにより、産業構造の大きな変化が見込まれる中、県内産業、農林水産業の持続的発展に向けた取組を進めるとともに、地球温暖化を防止するため、脱炭素社会の実現をめざします。



PJ 6

経済・労働

県内産業の活性化と多様な人材の活躍促進

- A 産業競争力の強化
- B 中小企業の収益の改善
- C 多様な人材の活躍促進

PJ 7

農林水産

地産地消の推進による持続可能な農林水産業の実現

- A 安定した食料等の生産基盤の構築
- B 安全・安心な魅力ある県産農林水産物の利用拡大

PJ 8

脱炭素・環境

未来のいのちや環境を守る脱炭素社会の実現をめざして

- A 多様な主体による取組の後押し
- B 県庁による率先した取組

テーマⅢ 自分らしく生きられる神奈川

将来の不確実性が高まる中、経済的困窮や社会的孤立など社会に潜在する課題をあらかじめ浮き彫りにし、県民の暮らしへの影響を最小限に抑えるための備えに取り組むとともに、障がいの状態、国籍、性別※にかかわらず、誰もがその人らしくくらせる地域社会の実現に向けた取組を進めます。

※「性別」には、男女に限らず、すべての性自認を含みます。



PJ 9

生活困窮

誰もが自分らしく夢や希望を持つことができる地域づくり

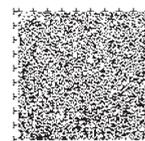
- A 子ども・若者が抱える困難に気づき、寄り添った支援につなげる拠点やしくみの整備
- B ひとり親家庭や困難な問題を抱える女性等への寄り添った支援の推進
- C 孤独・孤立に悩む方への社会とのつながりの支援

PJ10

共生社会

障がい、国籍、性別によらない、ともに生きる社会の実現

- A 障がい児・者ととも生きる社会の実現
- B 多文化共生の推進
- C ジェンダー平等社会の実現



テーマⅣ 安心してらせる神奈川

特殊詐欺やサイバー空間における脅威の深刻化や、激甚化・頻発化する自然災害、新興感染症の発生リスクといった様々な暮らしをとりまくリスクに対し、暮らしの安心の確保、防災・減災対策を進めます。



PJ11

くらしや経済活動をとりまく脅威から県民を守る

くらしの安心

- A 犯罪などの起きにくい地域社会づくり
- B 交通事故の防止
- C 消費生活の安心

PJ12

災害に強いかながわをめざして

危機管理

- A 災害対応力の強化
- B 災害に強いまちづくり
- C 非常時に対応できる持続可能な医療提供体制の構築

テーマⅤ 神奈川を支える基盤づくり

人口減少局面に入るとともに自然災害が激甚化・頻発化するなど神奈川をとりまく社会環境に大きな変化が見られる中、各テーマの重点施策を下支えする基盤づくりの取組として、持続可能なまちづくりを進めます。

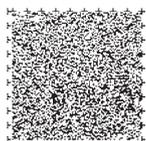


PJ13

持続可能な県土の形成をめざして

都市基盤

- A 交流と連携を支える交通ネットワークの充実
- B 活力と魅力あふれる強靱なまちづくりの推進



超高齢社会や人口減少社会への対応など非常に大きな課題を乗り越えるために、重点施策を分野横断的に取りまとめたプロジェクトをさらに複合的に実施する取組を「神奈川の戦略」としてまとめました。



1. ヘルスケア・ニューフロンティアの推進

- 未病の改善
- 最先端医療・最新技術の追求
- 次世代社会に向けた基盤づくり



2. 輝き続ける人生100歳時代の実現

- 生き生きとくらす健康づくりの推進
- 人生の充実につながるライフスタイルの多様化の促進
- 地域・社会で自分らしく活動できる環境の創出



3. ロボット共生社会の実現

- 様々な分野における生活支援ロボットの活用促進
- ロボット産業の振興に向けた企業支援
- ロボットの普及・定着



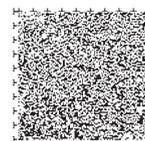
4. マグネット・カルチャーの推進

- マグカルの充実、発展に向けた取組
- 共生共創事業の推進
- 文化芸術による地域活性化



5. グローバル戦略の推進

- 多文化共生の地域社会づくり
- 神奈川の強みを生かした国際展開
- グローバル人材などの活躍促進



プロジェクトに関連する地域づくりの取組

プロジェクトに位置付けた事業のうち、「都市基盤」「危機管理」に関連する整備事業を中心に、地域で展開するものを5つの地域政策圏ごとに示します。

新かながわグランドデザインとSDGs

「基本構想」に掲げた基本理念である「いのち輝くマグネット神奈川」は、様々な分野の連関による総合的な政策の推進により実現するものであり、この考え方は、国連が提唱し、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組むSDGs（持続可能な開発目標）の理念と軌を一にするものです。

県は、SDGsの理念を踏まえ、県民、企業、NPO、大学、団体、市町村などすべてのステークホルダーとのパートナーシップを大切に、一人ひとりのいのちが輝く神奈川の実現に取り組みます。



私たち一人ひとりの行動が、
未来につながる。

SDGs 未来都市 神奈川県

主要施策

主要施策は、プロジェクトで取り組むものも含め、県が着実に実施していく施策・事業を体系化することにより、県の政策の全体像を総合的・包括的に示したものです。

I 子ども・若者・教育

V 共生・県民生活

II 健康・福祉

VI 危機管理・くらしの安心

III 産業・労働

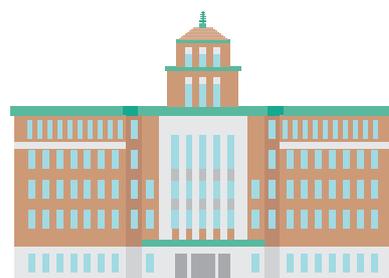
VII 県土・まちづくり

IV 環境・エネルギー

計画推進

計画推進のための行政運営

- ① デジタル技術の活用による効果的・効率的な施策の推進
- ② 多様な担い手との協働・連携
- ③ 県内市町村や他都道府県との協調・連携
- ④ クロスによる施策展開
- ⑤ 戦略的な広報の実施

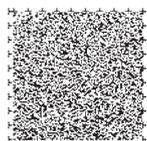


計画の進行管理

計画を着実に推進し、進行管理を行っていくため、実施計画に示した施策の実施状況について政策評価を行い、その評価に基づき政策運営の改善を図る「政策のマネジメント・サイクル」を確立し、効果的・効率的な政策運営を行うこととしています。

🌐 ホームページへのアクセス

この冊子は、「新かながわグランドデザイン基本構想／実施計画」を要約した概要版です。詳細については、県政情報センター、各地域県政情報コーナーにおいて冊子として閲覧できるほか、ホームページでもご覧いただけます。



II

プロジェクト

7 農林水産

～地産地消の推進による持続可能な農林水産業の実現～



プロジェクトのポイント

- 担い手の減少や高齢化、生産資材価格高騰などへの対応が必要
- 担い手の育成支援、スマート技術などの生産技術の開発・普及、ブランド力の強化の推進
- 食料等の生産基盤の構築と農林水産物の利用拡大を図り、持続可能な農林水産業の実現をめざす

神奈川の農林水産業をとりまく状況は、担い手の減少や高齢化、生産資材価格の高騰などにより依然として厳しく、デジタル技術の利活用、脱炭素化に向けた取組などへの対応が求められています。

そこで、新規就業の促進や経営感覚に優れた担い手の育成、スマート技術をはじめとする生産技術の開発・普及、環境負荷低減技術の導入支援、担い手への農地集積の促進などに取り組めます。また、県民ニーズに応じた新鮮で安全・安心な農林水産物の提供を支援するとともに、ブランド力を強化することで、農林水産物の利用拡大を図ります。こうした取組により、地産地消を推進し、持続可能な農林水産業の実現をめざします。



ドローンを活用したスマート農業



かながわブランド

指標（プロジェクトの達成度を象徴的に表す数値）

農林水産物の産出額【暦年】

（県農政課調べ）

2021年度実績
706億円

2027年度
739億円

「地元でとれた新鮮な野菜や魚を食べられること」に関する満足度

（県民ニーズ調査）

2023年度実績
24.3%

2027年度
30.0%

具体的な取組

A 安定した食料等の生産基盤の構築

- 農林水産業の新たな就業者を確保するため、就業相談やマッチング会、研修・教育を実施するとともに、参入を希望する企業等を支援します。
- 経営感覚に優れた担い手を育成するため、技術・経営指導や研修会などを開催します。また、生産性の向上を図るために必要な機械・施設等の整備を支援します。
- 魅力ある産業として次世代へ引き継ぐため、新品種などの育成、品質や生産性を高めるスマート技術等の開発・普及、国際情勢の変化に左右されない飼料生産基盤の強化、養殖と海業の振興、水産資源の管理体制の強化などに取り組めます。
- 環境と共存する産業を実現するため、「みどりの食料システム戦略」に対応した環境負荷低減技術の導入支援、地域ぐるみで取り組む鳥獣被害対策、藻場の再生・整備などに取り組めます。
- 農地中間管理機構などと連携した担い手への農地の集積を進めるため、地域での話し合いやほ場などの生産基盤の整備を推進するほか、集団的な優良農地の保全や、林道、漁港施設などの整備に取り組めます。

<KPI>

農林水産業への新規就業者数
（県農業振興課、県森林再生課、県水産課調べ）

| 現状(2022) | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 |
|----------|------|------|------|------|
| 166 | 164 | 164 | 164 | 164 |

スマート農業技術の導入経営体数（累計）

（県農業振興課、県畜産課調べ）

| 現状(2022) | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 |
|----------|------|------|------|------|
| 277 | 358 | 388 | 420 | 451 |

意欲ある担い手への農地集積率

（県農地課調べ）

| 現状(2022) | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 |
|----------|------|------|------|------|
| 24.2 | 25.1 | 25.7 | 26.3 | 26.9 |

農業生産基盤の整備と一体となった農地集積率

（県農地課調べ）

| 現状(2022) | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 |
|----------|------|------|------|------|
| 43 | 45 | 46 | 47 | 48 |

B 安全・安心な魅力ある県産農林水産物の利用拡大

- 県産の農林水産物を県民にとどけ、よろこばれるため、かながわブランドの登録の促進や6次産業化の支援、生産者と食品関連事業者とのマッチング商談会により、農林水産物のブランド力の強化や付加価値の向上、利用拡大の促進を図ります。
- かながわ認証木材の安定供給を図るため、県産木材の生産から消費までの流通過程における認証制度の活用促進に取り組めます。
- 農林水産物の安全・安心を確保するため、豚熱や高病原性鳥インフルエンザなどの特定家畜伝染病対策や貝毒対策に取り組めます。また、農業生産工程管理（GAP）の導入支援や、畜産農場における飼養衛生管理向上の取組（農場HACCP）を推進します。
- 都市と農林水産業の共存を図るため、学校等への出前講座や、地域ぐるみの共同活動、里地里山の保全活動などを実施し、農林水産業の多面的機能や生産活動に対する県民の理解促進を図ります。
- 2027年に開催される国際園芸博覧会を通して、都市農業の理解促進とともに、県産農産物を広くPRし、県内外での需要拡大を図ります。

<KPI>

かながわブランドの認知度

（県民ニーズ調査）

| 現状(2023) | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 |
|----------|------|------|------|------|
| 71.5 | 74.0 | 75.0 | 76.0 | 77.0 |

特定家畜伝染病の発生件数

（県畜産課調べ）

| 現状(2022) | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 |
|----------|------|------|------|------|
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

県民が里地里山の保全活動等に参加する人数

（県農地課調べ）

| 現状(2022) | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 |
|----------|-------|-------|-------|-------|
| 7,520 | 7,600 | 7,700 | 7,800 | 7,900 |